

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 日証金信託銀行株式会社（証券コード：一）

### 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1+

### ■格付事由

- (1) 日本唯一の証券金融会社である日本証券金融（日証金）の100%子会社。証券業界と密接な関係にある日証金グループの信託銀行として、証券会社からの顧客分別金信託、外国為替証拠金取引（FX）業者からの外為証拠金信託といった金融商品取引業者関連の信託業務を取扱うほか、貸出や有価証券運用などの銀行業務を行っている。親会社とは、資本面に加え、人事面や資金調達面でも結びつきが強い。また、事業面でも制約のある親会社の業務を補完している。格付には日証金グループにおける重要な位置づけや、良好な資産内容などを反映させている。
- (2) 近年、信託業務が伸長しており、18/3期以降は信託報酬が業務粗利益の過半を占める。同業務の好調な推移を主因に、21/3期第3四半期累計の経常利益は9.9億円（前年同期比88.2%増）と大幅な増益となった。堅調な株式市況を受けて顧客分別金信託の受託残高が増加したほか、ABL信託も安定した受託を維持した。20年5月より取扱いを開始した暗号資産関連信託の受託も拡大し、収益にも寄与した。一方、銀行業務は超低金利環境のもとでリスクを抑制した事業運営を行う中、一定の収益を維持している。現状の環境下では銀行業務の収益改善は見通しにくい。信託業務の収益は多彩な商品ラインナップやきめ細やかな顧客対応などを背景に当面も堅調に推移するとみられる。
- (3) 20年9月末の資産の内訳をみると、貸出金が約5割、有価証券が約3割を占める。貸出金は日本政府向けが大半であり、信用リスクは限定的である。厳格な与信方針を堅持しており、今後も資産の健全性は維持されるとみられる。有価証券の大半は国債や政府保証債などの信用リスクの極めて低い債券である。年限の長い債券のみならず、中期ゾーンの債券についても、スワップ取引などで金利リスクを抑制している。20年9月末の純資産額は242億円、自己資本比率が98.77%。リスク量対比でみた資本充実度は高い。適切なリスク管理態勢が維持されており、自己資本が棄損する可能性は小さいとJCRでは考えている。

（担当）大山 肇・坂井 英和

### ■格付対象

発行体：日証金信託銀行株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	格付
コマーシャルペーパー	J-1+

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年4月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007年12月14日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 日証金信託銀行株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル